

観光振興・宣伝事業
観光宣伝事業・観光プロモーション事業の詳細、高齢者・障がい者の
利用に関する問合せが過去にあったか

産業文化部 観光企画課

◎観光宣伝事業の詳細について

1 事業概要

市国際観光協会と連携し、本市の観光宣伝や誘客促進を目的とする事業を企画・運営することで観光需要を喚起し、地域経済の活性化を図るもの。

2 事業内容

(1) ウェルカムキャンペーン事業

市内宿泊施設の協力を得て、本企画と連動した特別プランを造成し、OTA（※）サイト内に制作する本市プロモーションページに同旅行プランを掲載する。

あわせて、販促の取り組みとして宿泊割引クーポンを発行するとともに、OTAサイト内外でのプロモーションを展開することで、旅行先としての認知度向上や、主に個人旅行者をメインとする新規顧客の獲得を図る。

（※）Online Travel Agent、オンライン上のみで取引を行う旅行会社

【実施期間】 令和5年（2023年）10月1日～12月30日（予定）

(2) 海外誘客事業（インバウンド向けガイド育成プログラムとランドオペレーターのファミトリップ（※）実施）

通訳士の基盤の拡大を目指し、研修を行うとともに、新たに開発するコンテンツを販売するランドオペレーターに対してファミトリップを実施する。また、令和4年度に引き続き「インバウンド向け観光ガイド」の育成プログラムを実施する。

【実施期間】 ガイド研修：調整中

ファミトリップ：令和5年（2023年）9月～10月（予定）

（※）旅行商品の造成や観光PRを目的に、旅行事業者やメディア等を招へいし行う現地視察のツアー

(3) 観光PR事業（バスツアー、セミナー）

＜バスで行く「宝塚花の里・西谷」ツアー＞

市内の地域資源を活かしたナイトコンテンツ等に対して、市内宿泊者などを対象に往復の送迎バスの提供を行う。各コンテンツの認知度アップと今後の継続化の検討を行い、西谷エリアを始めとする市内の新しい観光コンテンツの開発を目指す。

【実施期間】 調整中

＜宝塚温泉開湯800年記念セミナー＞

宝塚温泉開湯800年を記念して、宝塚温泉の歴史や本市発祥のウィルキンソン タンサンなどを紹介するセミナーを関係各所と連携し実施する。

【実施期間】 調整中

(4) 宝塚歌劇市民貸切公演事業

本市最大の観光資源である宝塚歌劇を全席貸し切り、市民及び市内在勤、在学者を対象にチケットを販売し観劇の機会を設け、歌劇のまち宝塚ならではのまちづくりを推進する。

【実施期間】 令和5年（2023年）中で調整中

(5) その他

PR効果の高い媒体を活用した情報発信や阪急宝塚線沿線観光あるきなどのイベントを実施するとともに、各種観光関連団体との連携を図る。

【実施期間】 事業毎に調整中

3 予算額（令和5年度）

観光振興・宣伝事業のうち観光宣伝事業補助金

7,976千円

◎観光プロモーション事業の詳細について

1 事業概要

宝塚歌劇をはじめとする事業者等と連携した本市ならではのイベントやプロモーションを実施することで誘客を促進し、コロナ禍により低迷した地域経済の再活性化及び観光消費額の増大を図る。

2 事業内容

(1) 宝塚歌劇との連携による若年層向け市民貸切公演

市内在住・在学の児童・生徒を対象に貸切公演を実施し、新たに宝塚歌劇の魅力に触れてもらい、歌劇ファンを発掘することで、将来的に持続的な観劇に伴う地域経済の活性化を図る。

【日 程】 令和5年（2023年）8月中で調整中

【内 容】 市内在住・在学の小中高校生が対象の宝塚大劇場の2階席貸切公演

【料 金】 S・A席・・・1,000円、B席・・・500円を想定

(2) 次年度以降の教育旅行誘致に向けた旅行事業者向けファミトリップ

コロナ禍により滞っていた宝塚歌劇観劇をプログラムとした教育旅行の需要回復を目的に、旅行事業者の担当者を招へいする。

【日 程】 令和5年（2023年）8月頃で調整中

【内 容】 教育旅行担当者を対象とした、歌劇観劇を含むファミトリップの実施

(3) 宝塚歌劇関連の媒体を活用したプロモーション

全国の歌劇ファンをターゲットに、歌劇関連の媒体を活用した観光PRやふるさと納税のPRを展開することで観劇後の周遊やふるさと納税の寄付額増大を図る。

【媒体案】タカラヅカスカイステージ（CSチャンネル）／宝塚GRAPH／公演公式プログラム等

【内 容】市内の観光スポットやお店等を紹介する番組制作、特産品紹介によるふるさと納税の返礼品PR等

3 予算額（令和5年度）

観光振興・宣伝事業のうち観光プロモーション事業補助金

9,400千円

◎高齢者・障害者の利用に関する問合せについて

市内の宿泊施設においては、館内設備や車いす対応等を中心に、直接問合せがあるとの報告を受けていますが、市および市国際観光協会では、高齢者や障害者の利用に関する問合せはこれまで受けていません。